

平成 27 年度（第 47 年度）事業報告

1. 概況

平成 27 年度の研究助成金は 1 件 200 万円を 50 名に交付し、交付総額は 1 億円となった。海外留学補助金の選考においては、昨年度の改革を受けて、従来の申請書の評価を一次選考とし、二次選考として面接を導入した。1 件 200 万円～400 万円を 10 名に交付し、交付総額は 2,625 万円となった。

第 46 回研究報告会を開催し、最優秀理事長賞（表彰状および副賞 100 万円／1 件）2 件、竹中奨励賞（表彰状および副賞 50 万円）1 件、および、優秀発表賞（表彰状）3 件を授与した。副賞の総額は 250 万円であった。

定款および規程類の改訂を実施した。

マイナンバー関連業務の外部委託方針を決定し、そのための規程類を整備した。

ワーキンググループの議論を織り込み、平成 28 年度助成事業の実施要領を策定した。

2. 運営について

1) 第 1 回定例理事会 平成 27 年 6 月 6 日開催

第 1 号議案：平成 26 年度事業報告、収支報告の件

⇒定時評議員会への上程を承諾

第 2 号議案：定款改訂の件

⇒定時評議員会への上程を承諾

第 3 号議案：新理事推薦の件

⇒新理事候補として安川健司氏を定時評議員会に推薦することを承諾

第 4 号議案：平成 27 年度選考委員選任の件

⇒選考委員候補者全員を承認

第 5 号議案：規程類改訂の件

⇒8 件の規程類の改訂を承認し、2 件の規程類の改訂案を定時評議員会に上程することを承諾

第 6 号議案：平成 27 年度定時評議員会招集の件⇒原案通り承認

第 7 号議案：理事長・専務理事 業務執行報告⇒承諾

2) 定時評議員会 平成 27 年 6 月 22 日開催

第 1 号議案：平成 26 年度事業報告、収支報告の件⇒原案通り承認

第 2 号議案：定款改訂の件⇒原案通り承認

第 3 号議案：後任評議員選任の件

⇒相川直樹前評議員の後任として相澤好治氏を選任

第 4 号議案：新理事選任の件

⇒安川健司氏を新任理事として選任

第 5 号議案：規程類改訂の件⇒原案通り承認

第 6 号議案：平成 27 年度第 1 回定例理事会報告の件

第 7 号議案：平成 26 年度報告を聞いての今後の財団活動の方向性について

⇒今後の助成事業の方向性について意見交換

- 3) **選考委員会 平成 27 年 10 月 17 日開催**
第 1 号議案：平成 27 年度研究助成金および海外留学補助金交付対象者・交付総額の件
⇒平成 27 年度研究助成金交付候補者 50 名、交付総額 1 億円、および、
海外留学補助金一次選考通過候補者 10 名、交付総額 2,000 万円～4,000
万円を決定し理事会へ答申
- 4) **第 2 回定例理事会 平成 27 年 10 月 17 日開催**
第 1 号議案：平成 27 年度研究助成金および海外留学補助金交付対象者・交付総額の件
⇒選考委員会の提案を原案通り承認
- 5) **第 1 回学術委員会 平成 28 年 2 月 6 日開催**
第 1 号議案：平成 28 年度研究助成事業の実施要領の件
⇒原案通り理事会に答申することを承諾
第 2 号議案：平成 28 年度海外留学助成事業の実施要領の件
⇒応募時に為替レートを明示することを条件に、その他は原案通り理事
会に答申することを承諾
第 3 号議案：新学術委員候補者推薦の件
⇒候補者 5 名を理事会に推薦することを承諾
- 6) **第 3 回定例理事会 平成 28 年 2 月 6 日開催**
第 1 号議案：平成 27 年度海外留学補助金交付対象者・交付総額の件
⇒原案通り承認
第 2 号議案：平成 27 年度事業報告、仮収支報告の件
⇒原案通り承認
第 3 号議案：平成 28 年度事業計画、収支予算書の件
⇒原案通り承認
第 4 号議案：平成 28 年度研究助成事業の実施要領の件
⇒学術委員会からの答申を承認
第 5 号議案：平成 28 年度海外留学助成事業の実施要領の件
⇒学術委員会からの答申を承認
第 6 号議案：平成 28 年度研究報告会開催の件
⇒原案通り承認
第 7 号議案：新学術委員候補者の件
⇒学術委員会からの答申を承認
第 8 号議案：マイナンバー制度への対応の件
⇒外部委託方針と規程類の改訂・新設について原案通り承認
第 9 号議案：理事長、専務理事の業務執行報告の件⇒承諾
- 7) **臨時理事会 平成 28 年 3 月 11 日開催（書面）**
第 1 号議案：辞退者等 2 名への平成 27 年度海外留学補助金（合計 600 万円）の交付
を中止する件
⇒全会一致で原案通り承認
第 2 号議案：次点候補者 2 名に、平成 27 年度海外留学補助金（合計 485 万円）を交
付する件
⇒全会一致で原案通り承認

3. 事業について

1) 助成事業

平成 27 年 4 月 1 日から 6 月 15 日の期間で公募を行った結果、研究助成金に平成 26 年度より約 32%多い 808 件（女性比率 17.1%）、海外留学補助金には平成 26 年度より約 17%多い 215 件（女性比率 15.8%）の申請を頂いた。（表 1（p4）参照）

平成 27 年 10 月 17 日開催の選考委員会および第 2 回定例理事会の決定に基づき、研究助成金交付対象者 50 名（内、女性 12 名）に対し 1 件 200 万円、計 1 億円を交付した。表 2（p4～p5）に交付対象者一覧を示す。

一方、海外留学補助金については、選考委員会および第 2 回定例理事会で決定された一次選考の順位に従い、二次選考に合格した場合には本財団の助成を受けることを誓約した候補者 10 名に面接を実施した。平成 28 年 2 月 6 日開催の第 3 回定例理事会において、面接を実施した 10 名全員を二次選考合格とし、算定ルールどおりの海外留学補助金（総額 2,740 万円）を交付することが承認された。しかしながら、その後に辞退等が 2 件あったため、次点候補者 2 名の面接を実施し、臨時理事会（書面開催）の承認を得て、この 2 名に海外留学補助金を交付した。最終的には、平成 27 年度海外留学補助金は、総額 2,625 万円を表 3（p6）に示す 10 名（内、女性 2 名）に交付した。

2) 研究報告会

平成 26 年度（第 46 回）研究助成金受領者による研究報告会を、平成 27 年 10 月 17 日（土）に日本工業倶楽部会館（東京都千代田区丸の内 1-4-6）にて開催した。受領者総数は 50 名、当日の出席者は 46 名、欠席者は 4 名であった。欠席理由は 1 名が海外学会での発表のため、2 名が出産のため、1 名が御親族の御不幸のためであった。出産のため以外の欠席者 2 名からは発表内容の研究報告書を受領した。出産のための欠席者については、復職後に、平成 28 年度の研究報告会での発表の可能性も含めて検討する。

選考委員の投票により、各会場で最も優秀な研究であると認められた 2 件に最優秀理事長賞（1 件に対し表彰状と副賞 100 万円）を授与した。

選考委員の投票により、将来が期待される若手研究者として最も多くの推薦を受けた 1 名に竹中奨励賞（表彰状と副賞 50 万円）を授与した。

発表者の相互投票を基に、担当選考委員、学術委員長および選考委員長による確認を経て優れた研究発表 3 件を選び、優秀発表賞（表彰状のみ）を授与した。

各褒賞受賞者は、表 4～表 6 に記載。（p6）

研究報告会プログラムを p7～p10 に掲載。

3) 第 45 回助成研究報告集

平成 25 年度（第 45 年度）研究助成金交付対象者からの研究報告をまとめた「第 45 回助成研究報告集」を作製し、平成 28 年 4 月 1 日に公開した。

表 1. 平成 27 年度（第 47 回）研究助成金・海外留学補助金申請者数および交付対象者数

| 項目 | 申請者数（女性数） | 交付対象者数（女性数） | 交付金額(万円) |
|---------|-------------|-------------|------------------|
| 研究助成金 | 808名（138名） | 50名（12名） | 10,000(200 x 50) |
| 海外留学補助金 | 215名（34名） | 10名（2名） | 2,625 |
| 総計 | 1023名（172名） | 60名（14名） | 12,625 |

表 2. 平成 27 年度（第 47 回）研究助成金交付対象者一覧（五十音順・敬称略）

| No. | 氏名 | 所属機関(交付時) | 研究テーマ |
|-----|------------|------------------------------------------------|----------------------------|
| 1 | 芦田 浩 | 東京大学医科学研究所 細菌感染生物学社会連携研究部門 | 病原細菌による宿主自然免疫応答抑制機構の解明 |
| 2 | 安部 健太郎 | 京都大学大学院 医学研究科 生体情報学講座 | 成体脳内における遺伝子転写制御因子の機能解明 |
| 3 | 池田 祐一 | 東京大学医学部附属病院 循環器内科 ユビキタス予防医学講座 | 常在性腸内細菌叢の産生する生理活性代謝産物の探索 |
| 4 | 井上 陽介 | がん研究会 有明病院 消化器外科 肝胆膵外科 | 膵癌予後向上のための多角的外科アプローチ |
| 5 | 大栗 博毅 | 東京農工大学大学院 工学研究院 応用分子化学部門 | 骨格多様化合成による医薬リード創製 |
| 6 | 大野 浩章 | 京都大学大学院 薬学研究科 薬品有機製造学分野 | 連続反応によるアルカロイド骨格の一挙構築と創薬展開 |
| 7 | 小川 美香子 | 北海道大学大学院 薬学研究院 生体分析化学研究室 | がんを特異的に「見る」「操る」システムの構築 |
| 8 | 神吉 智丈 | 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能制御学分野 | Mitophagyマウス樹立と疾患研究への応用 |
| 9 | 木田 泰之 | 産業技術総合研究所 創薬基盤研究部門 | 膵癌腫瘍の Organ-on-a-chip 作製 |
| 10 | KIM MINSOO | 京都大学 白眉センター | 腸管細菌がハイジャックする宿主免疫応答 |
| 11 | 國澤 純 | 医薬基盤研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト | 食事性脂質を起点とする脂質代謝と免疫制御・疾患 |
| 12 | 車 兪澈 | 東京工業大学 地球生命研究所 | 試験管内タンパク質合成系による新規創薬基盤の構築 |
| 13 | 黒川 洵子 | 東京医科歯科大学難治疾患研究所 生体情報薬理学分野 | 膜輸送分子複合体による心筋興奮終焉期の統合的制御 |
| 14 | 後藤 義幸 | 千葉大学真菌医学研究センター 感染免疫分野 | 自然リンパ球による腸管上皮幹細胞の分化・機能制御 |
| 15 | 佐々木 拓哉 | 東京大学大学院 薬学系研究科 薬品作用学教室 | 神経網羅解析法で迫る全身ストレス応答の実態解明 |
| 16 | 鈴木 一博 | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫応答ダイナミクス研究室 | 交感神経による適応免疫応答の概日リズム制御 |
| 17 | 竹本(木村) さやか | 名古屋大学 環境医学研究所 神経系I分野 | カルシウム依存的リン酸化経路による新規情動制御機構 |
| 18 | 田中 洋介 | 東京大学医科学研究所 細胞療法分野 | 造血幹細胞の非対称分裂とMidbodyの動態 |
| 19 | 田中 芳彦 | 福岡歯科大学 口腔歯学部 機能生物化学講座 感染生物学分野 | アレルギー応答を司る新規制御因子の同定と機能解析 |
| 20 | 坪内 知美 | 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 細胞生物学領域 幹細胞生物学研究室 | エピジェネティックな可塑性とがん |
| 21 | 富田 耕造 | 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 RNAプロセッシング研究特別チーム | 転移RNAメチル化とがん転移の分子基盤研究 |
| 22 | 中川 勇人 | 東京大学 医学部 消化器内科 | 新規肝外胆管癌マウスモデルを用いた分子発生機序解明 |
| 23 | 中谷 真子 | 福井大学 医学部医学科 生命情報医学講座 薬理学領域 | CDX2発現低下による炎症性腸疾患の発症機序の解明 |
| 24 | 難波 卓司 | 高知大学 教育研究部総合科学系 複合領域科学部門 | 神経細胞での小胞体-ミトコンドリア情報交換機構の解明 |
| 25 | 西川 恵三 | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫細胞生物学 | 破骨細胞のエピジェネティクスの研究と創薬への応用 |

表 2. 平成 27 年度 (第 47 回) 研究助成金交付対象者一覧 (五十音順・敬称略)

| No. | 氏名 | 所属機関(交付時) | 研究テーマ |
|-----|------------|------------------------------------------|---------------------------|
| 26 | 根本 哲宏 | 千葉大学大学院 薬学研究院 薬化学研究室 | 3,4位中員環縮環インドール類の効率合成法の開発 |
| 27 | 野田 秀俊 | 微生物化学研究会 微生物化学研究所 有機合成研究部 | 触媒的不斉合成が拓くβ-ペプチド含有創薬の新時代 |
| 28 | 橋本 大吾 | 北海道大学 医学部附属病院 血液内科学 | パネト細胞増殖因子による消化管エコロジーの保全 |
| 29 | 長谷 耕二 | 慶應義塾大学 薬学部 生化学講座 | 腸内代謝システムによる免疫制御機構の解明 |
| 30 | 花田 俊勝 | 大分大学 医学部医学科 細胞生物学講座 | RNA代謝機構が関与する病態の分子機構解明 |
| 31 | 原 博満 | 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 感染防御学講座免疫学分野 | 結核菌表層の病原性脂質による自然免疫応答の制御機構 |
| 32 | 日浅 未来 | 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 生体膜生化学研究室 | 脳内D-セリンの小胞内蓄積機構と生合成連関の解明 |
| 33 | 東島 真一 | 自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター 神経分化研究部門 | 脊髄内リズム運動生成回路の発生および機能解析 |
| 34 | 久本 直毅 | 名古屋大学大学院 理学研究科生命理学専攻 生体応答論講座 | 神経切断が誘導する一過的異分化による軸索再生制御 |
| 35 | 福中 彩子 | 順天堂大学大学院 医学研究科 代謝内分泌内科 | 亜鉛トランスポーターZIP13の脂肪褐色化での役割 |
| 36 | 藤永 由佳子 | 金沢大学 医薬保健研究域 医学類細菌学 | 乳児便の病原細菌検出による乳児突然死リスク因子解析 |
| 37 | 坊内 良太郎 | 東京医科歯科大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 | 非肥満者における内臓脂肪蓄積評価の意義 |
| 38 | 前川 洋一 | 岐阜大学大学院 医学系研究科 寄生虫学・感染学分野 | マラリアワクチン開発に向けた肝臓内免疫応答の解明 |
| 39 | 増田 茂夫 | 大阪大学大学院 医学系研究科 心臓血管外科 | iPS臨床における造腫瘍性回避技術の新規開発 |
| 40 | 松岡 悠美 | 千葉大学大学院 医学研究院 皮膚科学 | 脂質代謝依存ACC1誘導性Th17の乾癬での役割 |
| 41 | マルチーノ ミカエル | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学 | 組織再生における免疫制御の解明と再生医療への応用 |
| 42 | 水関 健司 | 大阪市立大学大学院 医学研究科 生理学第二講座(細胞情報学) | 海馬体介在細胞の生体内機能解析 |
| 43 | 宮崎 正輝 | 京都大学 再生医科学研究所 再生免疫学分野 | Id2/Id3による転写制御とアレルギー炎症 |
| 44 | 宮地 孝明 | 岡山大学 自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門 | VNUT特異的阻害剤の開発とその薬学的応用 |
| 45 | 柳沢 裕美 | 筑波大学 生命領域学際研究センター | 大動脈瘤の新たな治療標的の探索 |
| 46 | 脇本 敏幸 | 北海道大学大学院 薬学研究院 天然物化学研究室 | フラン脂肪酸の物性および抗炎症作用機序の解析 |
| 47 | 和田 泰三 | 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 小児科 | 便中蛋白による小児消化管アレルギーの非侵襲的評価 |
| 48 | 渡邊 すぎ子 | 大阪大学 微生物病研究所 環境応答研究部門 遺伝子生物学分野 | テロメア構成タンパク質修飾とエピゲノム異常の関連性 |
| 49 | 渡部 昌 | 北海道大学大学院 医学研究科 生化学講座医化学分野 | パーキンの網羅的基質同定によるパーキンソン病の解明 |
| 50 | 渡邊 力也 | 東京大学大学院 工学系研究科応用化学専攻 | 膜輸送体のための先端計測技術の開発 |

表 3. 平成 27 年度（第 47 回）海外留学補助金交付対象者一覧（五十音順・敬称略）

| No. | 氏名 | 所属機関(申請時) | 研究テーマ | 留学先 | 交付金額 (万円) |
|-----|--------|-----------------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------|--------------|
| 1 | 板倉 千絵子 | 東京医科歯科大学大学院 医学部医歯学総合研究科 細胞生理学分野 | オートファジーにおける Myosin VIの役割 | ケンブリッジ大学 臨床生物学分野 | 200 |
| 2 | 井手 盛子 | 大阪大学大学院 医学系研究科 先進心血管治療学寄附講座 | 小児心疾患領域の心臓MRI による病態病理評価法確 立 | トロント小児病院 | 285 |
| 3 | 笠原 和之 | 神戸大学大学院 医学研究科 循環器内科学分野 | 腸内細菌叢がメタボリック 症候群に与える影響の解 明 | ウィスコンシン大学マディソン校 細菌学分野 | 400 |
| 4 | 五味 正憲 | 小倉記念病院 脳卒中センター 脳神経外科 | 脳梗塞の分子機構解明と その制御による治療法の開 発 | マサチューセッツ総合病院 脳保護研究室 | 200 |
| 5 | 佐藤 道大 | 静岡県立大学 薬学部 生薬天然物化学分野 | [4+2]環化付加酵素を用い た非天然型天然物の創製 | カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 | 200 |
| 6 | 塚田 実郎 | 慶應義塾大学 医学部医学科 | 血管内皮細胞を生着させた BioStentの応用 | アーヘン工科大学 応用医工学部 | 340 |
| 7 | 沼田 倫征 | 産業技術総合研究所 | 遺伝子の発現を制御する RNA分子装置の作動原理 解明 | 国立心肺血液研究所 アメリカ国立衛生研究所 | 200 |
| 8 | 前田 良太 | 先端医療振興財団 先端医療センター医薬品開発 研究部門 | 骨粗鬆症の発症にかかわ る糖鎖修飾酵素の結晶構 造解析 | コペンハーゲン大学 糖鎖解析センター | 400 |
| 9 | 見前 隆洋 | 広島大原爆放射線医科学研 究所 放射線災害医療研究セ ンター 腫瘍外科研究分野 | 脂肪肉腫における新規治 療標的分子同定および機 能解析 | メモリアル スローン ケタリン がんセンター 外科、胃・混合腫瘍研究室 | 200 |
| 10 | 山内 隆好 | 九州大学大学院 医学系学府 分子医科学分野 | キメラ形成能を有する霊長 類多能性幹細胞の樹立と 応用 | ソーク研究所 | 200 |

表 4. 平成 27 年度最優秀理事長賞受賞者（五十音順・敬称略）

| 氏名 | 所属機関(受賞時) | 研究テーマ |
|--------|-----------------------------|---------------------------|
| 有本 博一 | 東北大学大学院 生命科学研究所 分子情報化学分野 | 個体の寿命を制御する内因性分子の研究 |
| 古屋敷 智之 | 神戸大学大学院 医学研究科 薬理学分野 | ストレスにおける神経グリア相互作用の分子実体の解明 |

表 5. 平成 27 年度竹中奨励賞受賞者（敬称略）

| 氏名 | 所属機関(受賞時) | 研究テーマ |
|-------|---------------------------------|---------------------|
| 宮成 悠介 | 岡崎統合バイオサイエンスセンター 核内ゲノム動態研究部門 | 核内クロマチン動態を制御する因子の同定 |

表 6. 平成 27 年度優秀発表賞受賞者（五十音順・敬称略）

| 氏名 | 所属機関(受賞時) | 研究テーマ |
|-------|---------------------------------|---------------------|
| 有本 博一 | 東北大学大学院 生命科学研究所 分子情報化学分野 | 個体の寿命を制御する内因性分子の研究 |
| 津田 誠 | 九州大学大学院 薬学研究院 ライフィノベーション分野 | ATPによる痒みの神経メカニズムの研究 |
| 宮成 悠介 | 岡崎統合バイオサイエンスセンター 核内ゲノム動態研究部門 | 核内クロマチン動態を制御する因子の同定 |

第46回 研究報告会

*日時：2015年10月17日(土) 11:00~17:30

*場所：日本工業倶楽部

東京都千代田区丸の内 1-4-6

TEL (03) 3281-1711

総合受付：2階(開場 10:00~)

・研究報告会

第1会場 2F 大会堂 11:00~14:41

第2会場 3F 中ホール 11:10~16:12

第3会場 5F 第6会議室 15:00~16:12

・特別講演 第1会場 12:40~13:00

・受賞講演 第1会場 13:00~13:10

・交流会 第1会場 16:20~17:30

★聴講者およびご発表者の皆様へ★

1. 本財団の規程により、事前に「秘密保持等に関する誓約書」のご提出をお願いします。
2. 総合受付2階大会堂前にてネームカードをお渡しいたしますので、必ずご着用の上、会場にお入りください。
3. クロークは、1階入口にあります。

公益財団法人アステラス病態代謝研究会

2F・第1会場

| 11:00-11:10 開会の挨拶 理事長 児玉 龍彦 | | | | | |
|-----------------------------|--------|-------|--------|----------------------------------------------------|---------------------------|
| 座長 | 演題 No. | 発表時間 | 発表者 | 所属 | 研究テーマ |
| 稲葉 俊哉 | 1-1 | 11:10 | 片山 義雄 | 神戸大学 医学部附属病院 血液内科 | ビタミンDを標的とした骨髄増殖性腫瘍の病態解明 |
| | 1-2 | 11:19 | 植松 智 | 東京大学 医科学研究所 国際粘膜ワケン開発研究センター 自然免疫制御分野 | 放射線障害における腸管常在性好酸球の役割 |
| | 1-3 | 11:28 | 落合 恭子 | 東北大学大学院 医学系研究科 生物化学分野 | シグナル伝達を介した転写因子機能制御と疾患治療応用 |
| 大谷 直子 | 1-4 | 11:37 | 猪子 誠人 | 愛知県がんセンター研究所 腫瘍医化学部 | 中心小体の構造変化に根差した分化増殖への人的介入 |
| | 1-5 | 11:46 | 豊島 文子 | 京都大学ウイルス研究所 細胞生物学研究部門 構造形成学分野 | がん細胞のステロイドによる中心体制御機構の解明 |
| | 1-6 | 11:55 | 横田 浩章 | 光産業創成大学院大学 光産業創成研究科 光バイオ分野 | DNA修復機構の蛍光1分子イメージング |
| | 1-7 | 12:04 | 千葉 奈津子 | 東北大学 加齢医学研究所 腫瘍生物学分野 | BRCA1結合分子OLA1の中心体制御能と発がん |
| 12:15~12:40 昼食 | | | | | |
| 小川 久雄 | 12:40~ | | 第1会場 | 特別講演「Gタンパク質に魅せられて」 東京大学大学院 薬学系研究科 教授 堅田 利明 | |
| 中里 雅光 | 13:00~ | | | 平成26年度 竹中奨励賞 受賞講演 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 助教 丸山 健太 | |
| 中山 俊憲 | 1-8 | 13:20 | 宗 孝紀 | 東北大学大学院 医学系研究科 免疫学分野 | TRAF5とZDHHC15によるT細胞制御機構 |
| | 1-9 | 13:29 | 宮成 悠介 | 岡崎統合バイオサイエンスセンター 核内ゲノム動態研究部門 | 核内クロマチン動態を制御する因子の同定 |
| | 1-10 | 13:38 | 丸山 貴司 | 岐阜大学大学院 医学系研究科 細胞情報学 | 核内IκBファミリー分子による多発性硬化症の制御 |
| | 1-11 | 13:47 | 鈴木 亮 | 名古屋市立大学大学院 薬学研究科 生体超分子システム解析学 | マスト細胞と抗原親和性特異的浸潤細胞のクロストーク |
| | 1-12 | 13:56 | 佐藤 莊 | 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学 | 疾患特異的M2マクロファージの機能解析 |
| | 1-13 | 14:05 | 村上 智彦 | 大阪大学大学院 歯学研究科 生化学教室 | 骨軟骨疾患と炎症の慢性化 |
| 小川 久雄 | 1-14 | 14:14 | 柴 祐司 | 信州大学 医学部附属病院 循環器内科 | 移植免疫寛容型サルを用いたiPS細胞による心筋再生 |
| | 1-15 | 14:23 | 有本 博一 | 東北大学大学院 生命科学研究所 分子情報化学分野 | 個体の寿命を制御する内因性分子の研究 |
| | 1-16 | 14:32 | 笠木 伸平 | 神戸大学 医学部附属病院 臨床検査医学分野 | 免疫寛容誘導による自己抗原特異的免疫抑制療法の確立 |
| 14:41~15:00 休憩 <4F喫茶スペース> | | | | | |

5F・第3会場

| 座長 | 演題 No. | 発表時間 | 発表者 | 所属 | 研究テーマ |
|-----------------------------------|--------|-------|--------|---------------------------------|---------------------------|
| 今井 由美子 | 1-17 | 15:00 | 南 敬 | 東京大学 先端科学技術研究センター 血管生物学 | 血管内皮活性化制御の分子機構システム解析 |
| | 1-18 | 15:09 | 浦田 秀造 | 長崎大学 熱帯医学研究所 新興感染症学分野 | 構造に基づく新規抗エボラウイルス化合物の探索 |
| 藤井 信孝 | 1-19 | 15:18 | 渡辺 匠 | 微生物化学研究会 微生物化学研究所 有機合成研究部 | がん-間質相互作用に働く天然物の生物有機化学的研究 |
| | 1-20 | 15:27 | 濱島 義隆 | 静岡県立大学 薬学部 医薬品創製化学分野 | カルボキレート触媒によるオレフィンの不斉フッ素化 |
| | 1-21 | 15:36 | 小出 隆規 | 早稲田大学 先進理工学部 化学・生命化学科 生物分子化学研究室 | 3重らせん構造を骨格とするペプチド創薬 |
| 井上 将行 | 1-22 | 15:45 | 西山 伸宏 | 東京工業大学 資源化学研究所 高分子材料部門 | がんの特異的代謝に着目したがん標的化システムの構築 |
| | 1-23 | 15:54 | 植田 浩史 | 東北大学大学院 薬学研究科 医薬製造化学分野 | 有機合成を基盤とするエピゲノム創薬への挑戦 |
| | 1-24 | 16:03 | 有澤 美枝子 | 東北大学大学院 薬学研究科 分子設計化学分野 | 医薬品合成のための可逆的遷移金属触媒フッ素化反応 |
| 16:20~17:30 第1会場 交流会 <優秀発表賞受賞者発表> | | | | | |

3F・第2会場

| 11:00-11:10 開会の挨拶 理事長 児玉 龍彦 (第1会場にて) | | | | | |
|--------------------------------------|--------|------------------------|----------------------------------------------------|------------------------------------|----------------------------|
| 座長 | 演題 No. | 発表時間 | 発表者 | 所属 | 研究テーマ |
| 熊ノ郷 淳 | 2-1 | 11:10 | 小松 紀子 | 東京大学大学院 医学系研究科 免疫学 | 新規T細胞亜集団を標的とした自己免疫疾患の創薬開発 |
| | 2-2 | 11:19 | 香山 尚子 | 大阪大学大学院 医学系研究科 免疫制御学 | Spi-C発現腸管ミエロイド細胞の分化機構解明 |
| | 2-3 | 11:28 | 浦野 友彦 | 東京大学大学院 医学系研究科 加齢医学講座 | ロコモティブ症候群における新規診断法の開発 |
| 後藤 由季子 | 2-5 | 11:37 | 津田 誠 | 九州大学大学院 薬学研究院 ライフイノベーション分野 | ATPIによる痒みの神経メカニズムの研究 |
| | 2-6 | 11:46 | 池田 真理子 | 神戸大学大学院 医学研究科 こども急性疾患学 | 先天性肺嚢胞性疾患の体細胞変異による発症機構の解明 |
| | 2-7 | 11:55 | 穴戸 恵美子 | 名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学分野 | 動作時眼球運動の個人差と発達障害との関係 |
| ★★★ 午前のプログラム終了後、昼食となります。★★★ | | | | | |
| 12:15~12:40 | | 昼 食 | | | |
| 小川 久雄 | 12:40~ | 第1会場 | 特別講演「Gタンパク質に魅せられて」 東京大学大学院 薬学系研究科 教授 堅田 利明 | | |
| 中里 雅光 | 13:00~ | | 平成26年度 竹中奨励賞 受賞講演 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 助教 丸山 健太 | | |
| 若槻 壮市 | 2-8 | 13:20 | 匂坂 敏朗 | 神戸大学大学院 医学研究科 膜動態学分野 | ヘアピン型タンパク質の膜挿入装置の同定と膜挿入病 |
| | 2-10 | 13:29 | 入子 英幸 | 神戸大学大学院 保健学研究科 感染症対策分野 | マラリア原虫のヘモグロビン輸送・代謝の分子基盤 |
| 桑 昭苑 | 2-11 | 13:38 | 中村 肇伸 | 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 エピジェネティック制御学研究室 | 全能性細胞で高発現するKlf17の機能解析 |
| | 2-12 | 13:47 | 宮塚 健 | 順天堂大学大学院 医学研究科 代謝内分泌内科学 | 糖尿病再生医療の実現に向けた膵β 細胞新生機構の解明 |
| | 2-13 | 13:56 | 太田 訓正 | 熊本大学大学院 生命科学研究部 神経化学分野 | 乳酸菌由来物質による癌細胞リプログラミング機構 |
| 中澤 徹 | 2-14 | 14:05 | 任 書晃 | 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子生理学分野 | 加齢性難聴の克服に資する内耳イオン動態の包括的解析 |
| | 2-15 | 14:14 | 小坂田 文隆 | 名古屋大学大学院 創薬科学研究科 細胞薬効解析学 | 視覚情報処理におけるアマクリン細胞の役割 |
| | 2-16 | 14:23 | 西山 功一 | 熊本大学 医学部附属病院 循環器予防医学先端医療寄附講座 | 血管新生の新しい解析系の開発としくみの理解 |
| 14:32~ ~15:00 休 憩 <4F喫茶スペース> | | | | | |
| 南 雅文 | 2-17 | 15:00 | 中台(鹿毛) 枝里子 | 大阪市立大学 複合先端研究機構 | 浸透圧ストレス応答におけるグリア/ニューロン機能 |
| | 2-18 | 15:09 | 林 崇 | 国立精神・神経医療研究センター神経研究所 細胞生化学研究室 | 精神疾患原因遺伝子による興奮性シナプスの機能制御 |
| | 2-19 | 15:18 | 古屋敷 智之 | 神戸大学大学院 医学研究科 薬理学分野 | ストレスにおける神経グリア相互作用の分子実体の解明 |
| | 2-20 | 15:27 | 堀 正士 | 早稲田大学 教育・総合科学学術院 教育心理学教室 | パーキンソン病患者家族の介護負担感に影響する要因 |
| 根岸 学 | 2-21 | 15:36 | 深田 優子 | 生理学研究所 細胞器研究系 生体膜研究部門 | シナプス機能障害における自己抗体の探索と病態解明 |
| | 2-22 | 15:45 | 川内 敬子 | 甲南大学 フロンティアサイエンス学部 腫瘍分子生物学研究室 | がんの物理的環境応答におけるアクチンとp53の役割 |
| | 2-23 | 15:54 | 小川 正晃 | 生理学研究所 発達生理学研究系 認知行動発達機構研究部門 | 不確実な報酬に惹きつけられる神経機構の解明 |
| 若槻 壮市 | 2-9 | 16:03 | 谷内江 望 | 東京大学 先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野 | 高速タンパク質インタラクトーム同定技術の開発 |
| 16:20~17:30 | | 第1会場 交 流 会 <優秀発表受賞者発表> | | | |

＊ ＊ご発表者へのお願い＊ ＊

1. 発表時間：7分 討論時間：2分（時間厳守願います。）

2. 発表形式

PCアプリケーション：PowerPoint、Keynote（MAC）

- PCは会場にご用意します。ファイルを保存したUSBメモリ、CD-ROMをご用意ください。ただし、動画の貼り付けがある場合は、ご自身のPC本体をご用意ください。

- 事前にPowerPointデータは、作成に使用されたPC以外で再度チェックされる事をお願いします。（フォントはOSに入っている標準フォント）

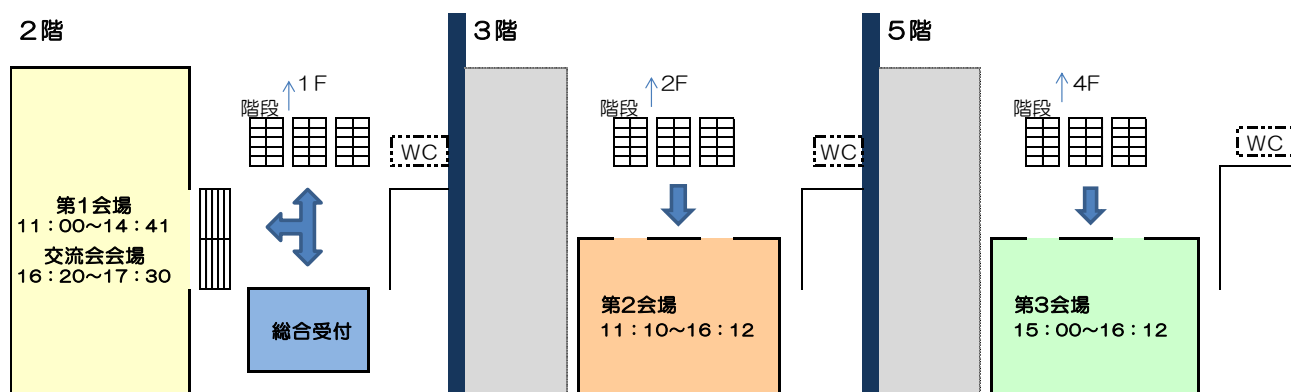
- 発表用と同等のPC機種を試写確認用として、会場にご用意します。

受付前に必ずファイル動作および文字化け等の確認を行ってください。

3. 発表時間45分前までは、内容確認後のUSBメモリ等を4階メディア受付にご提出ください。

4. 発表開始時間の10分前には、次演者席にお着きください。

【会場レイアウト図】



1階 クローク

4階 メディア受付・喫茶スペース